



播磨高原東小・中学校 在り方検討会だより

「播磨高原東小・中学校在り方検討会だより」は、校区にお住まいの皆様に、話し合いの経過や学校の現状などをお知らせする広報誌です。



発行 播磨高原東小学校及び播磨高原東中学校の在り方検討会
(事務局：播磨高原広域事務組合教育委員会事務局 教育総務課)

播磨高原東小・中学校の今後の在り方について答申しました。

第4回播磨高原東小・中学校の在り方検討会を開催し、今後の在り方について7月10日付けで播磨高原広域事務組合教育委員会へ答申しました。

それを受け、播磨高原広域事務組合教育委員会定例会を開催しました。また、答申及び本検討会での要望事項等を受けて、今後、各市町（たつの市・上郡町）、関係機関と協議をしていきます。

なお、本検討会からの答申については、次のとおりです。

播磨高原東小学校及び播磨高原東中学校の在り方の協議結果について（答申）

1 結論

播磨高原東小学校及び播磨高原東中学校については、現状のまま存続とする。

2 検討に至った主な理由

- (1) 播磨高原東小学校及び播磨高原東中学校の教育活動を維持していくことが、現段階では当該地域にとって望ましいと考えるため。
- (2) 令和6年度に実施した小中学校保護者、未就学児保護者及び校区住民に対するアンケート調査においても、78.4%が組合立学校での学校存続を望まれる回答があったため。

3 結論に対する追記事項

- (1) 今回の結論は、現状のまま存続することとしたが、今後、必要な時期に、改めて播磨高原東小学校及び播磨高原東中学校の在り方について検討するべき。
- (2) 小規模特認校制度の導入を検討していただきたい。
- (3) 放課後児童クラブを、播磨高原東小学校近隣に開設する検討を進めていただきたい。

播磨高原広域事務組合教育委員会定例会にて、答申内容について協議しました。

第5回播磨高原広域事務組合教育委員会定例会にて、答申内容について協議し、答申のとおり、「播磨高原東小学校及び播磨高原東中学校は現状のまま存続する」ということで承認されました。

今後、必要な時機に改めて学校の在り方について検討を再開することや、放課後児童クラブの設置についても教育委員会として検討していきます。

在り方検討会でのご意見を一部紹介します。

- ・ 選択肢が色々あった方が良くと思う。校区外からも通学しやすく、また、校区外へも通学できるという選択肢を増やしては。
- ・ 播磨科学公園都市の今後の動向を見ながら、組合立学校の在り方を再度検討する機会を設けてほしい。
- ・ 組合立学校に通って良かったと思う人もいれば、小規模校でしんどい思いをした人もいる。児童生徒達のことを最優先に考えて欲しい。
- ・ 大規模校から播磨高原東小学校へ転校してきて色々な経験ができて先生たちも手厚く、同級生ともすぐ仲良くなれたと言っていた。とても良い学校だと思う。
- ・ 播磨高原東小学校に放課後児童クラブを設置してほしい。現在、放課後児童クラブは、西栗栖小学校まで行かないといけないため、保護者の負担も大きい。播磨高原東小学校に放課後児童クラブを設置すれば、保護者の負担も減るし安心して子どもを預けられるのではないか。
- ・ 近隣市でも、本検討会と同様の検討が行われたと聞いた。1つの学校では、小規模特認校の制度を導入し、統合ではなく存続すると聞いた。組合立学校でも小規模特認校の導入を考えることはできないか。
- ・ 今後入学予定の子どもや、現在組合立学校に通学している児童生徒達にとって何が一番ベストなのかを考えて欲しい。

